

# あすなろ

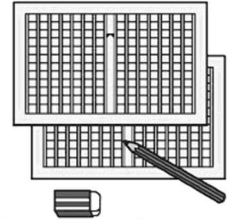
「明日はヒノキになろう！」  
**努力は無限！**  
 「授業を大切にしよう!!!」

## ◆◇◆朝読時の書き取り学習、はじまります！◆◇◆

5/13(木)・14(金)、朝読の時間は本を読みません。

「書き取り学習」を行います。

5分間集中して、お手本の文章をていねいに書き写します。



お手本の文章を正しくていねいに書き写していく学習を「視写」ともいいます。

仏教ではお坊さんが経典(お経)を書き写す作業を「写経」といって、仏教の教えを学ぶための修行の1つになっています。また、江戸時代の寺子屋で教えられた「読み・書き・そろばん」の「書き」は「視写」の形ですすめられていました。このように、日本では古くから「視写」が行われてきました。近頃、「視写」の学習効果が再評価されています。文部科学省は、この「視写」の取り組みに次の5つの効果があるとしています。

1. 集中力をつける。
2. 字が上手になる。
3. 文章表現の技法を覚える。
4. 表記のルールを覚える。
5. 暗唱(あんしょう)や記憶に役立つ。



「書き取り学習」で意識して欲しいことが2つあります。

1つ目は、「ていねい」に書くこと。

字を「上手」に書けるようになるには、たくさんの練習が必要ですしセンスも問われるので、すぐにどうかなるものではありません。しかし、字を「ていねい」に書くのは、意識の問題なので、今すぐにでもできます。字をていねいに書くことを習慣づけられたら、授業に集中して臨むことができるし、ノートや授業プリントを使つての復習がしやすくなります。また、書き間違いや読み間違いが減り、計算間違いも減らすことができます。テストの採点でも、読めない字だからといって×にされることもなくなります。

2つ目は、「速く」書くこと。

書く作業が速くなればその分、授業やテストに余裕を持って取り組むことができるようになります。ただし、「速く」を意識しすぎて「ていねい」の意識がうすれると、間違いのもとになります。「ていねい」と「速く」のバランスが大切です。5分間で175字以上を「ていねい」に書くことを目安にして取り組んでみよう。

### ★書き取り学習の進め方

- ①「お手本」と「書き取り用紙」(裏面は「ふりかえり」)が配られる。
- ②先生の合図で書き取りを始める。書き取り時間は5分間。「ていねい」に、そして「速く」を心がけて取り組む。
- ③先生の合図で、書き取りを終わる。「書き取り用紙」の裏面の「ふりかえり」で取り組みの振り返りをする。
- ④「書き取り用紙」は提出し、「お手本」は学活ファイルにする。
- ⑤「書き取り用紙」が返却されたら、学活ファイルにする。

今年度は、年5回、「学びチュー」(定期テスト前)に書き取り学習をそれぞれ2回ずつ予定しています。(3年生は1・2学期の年4回を予定)。お手本は、みんなに読んで欲しい「おすすめ本」の一節から用意します。昨年度から、図書委員会と協力してお手本の用意をしています。

今年度は

第1回(1学期中間テスト前)…先生方

第2回(1学期期末テスト前)…3年図書委員会

第3回(2学期中間テスト前)…2年図書委員会

第4回(2学期期末テスト前)…先生方

第5回(学年末テスト前)…1年図書委員会

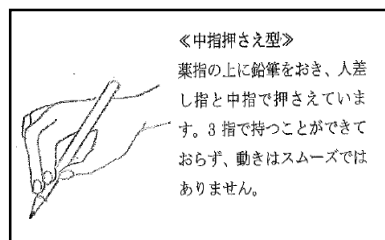
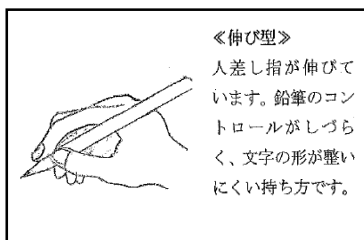
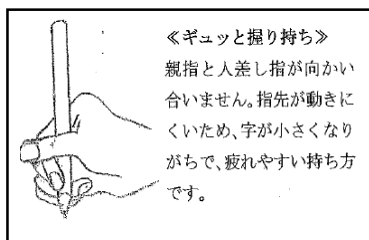
の予定で用意をします。

どんな本を紹介して下さるのか、楽しみです。興味があった本は、図書室や図書館で探してぜひ読んでみて下さい。

## ◆◇◆正しい鉛筆(シャープン)の持ち方で学力アップ! ◆◇◆

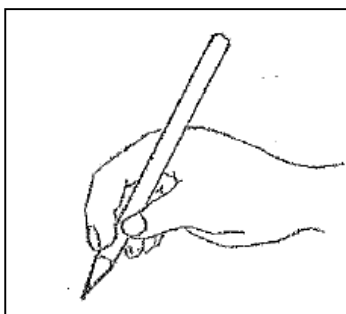
平成25年と26年に茨木市では、藍野大学・医療保健学部・作業療法学科の先生に、子どもたちの鉛筆の持ち方についてご指導いただきました。

### ■教室で見られる、いろいろな鉛筆(シャープン)の持ち方



持ち方によって、力が入り過ぎて疲れてしまう、たくさん書くことが苦痛になってしまう、指先がよく見えず目が疲れてしまうなど、学習しづらい状況になることがあります。

### ☆書きやすい鉛筆(シャープン)の持ち方☆



その①

親指と人差し指が向かい合っている。

その②

薬指、小指は軽く握りこむことができています。

書きやすい鉛筆(シャープン)の持ち方によって、疲れずに正しい文字を書くことができ、学習効果も期待できます。鉛筆(シャープン)の持ち方を正しくしていくには、日ごろから意識することが大切だと言われています。今回の「書き取り学習」をきっかけに、少し意識して取り組んでみてはどうでしょうか。